



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2017年6月11日(日)9:30~12:00(曇)

参加者 一般:4名(うち子ども1名)

指導員:5名

## テーマ 「よく似たものを比べてみよう！」

今回のテーマは、よく似た植物の見分け方です。最初に、河原に生えているシンジュ、オニグルミ、ヌルデの3種類の複葉を観察しました。小葉の形状、枚数、鋸歯、色、毛の有無、手触りなどを比べてみました。(ヌルデは肌の弱い人がかぶれるといけないので、触ることは避けました。)ヌルデは中軸に翼があること、小葉に鋸歯が目立つことで、他の2つと区別できます。シンジュとオニグルミは小葉の出方や枚数に差がありますが、シンジュの小葉には腺があるので、ルーペでそれを確認しました。

よく似たもののふたつ目はキキョウソウ、ヒナキキョウソウ、ヒナギキョウの花です。キキョウソウとヒナキキョウソウの花は似ていますが、葉を比べると違いが分かります。ヒナギキョウは花がずっと小さいので区別できます。

今年は桜の開花が例年より遅かったのですが、他の花にも開花が遅いものがあります。昨年まで6月には咲いていた河原のネムノキはまだ蕾でした。カワラサイコも昨年にはたくさん花が見られましたが、今年はまだ2株ほどしか咲いていませんでした。

実は、今回のテーマは昆虫の予定でしたが、週初めの天気予報で雨の確率が高いということで、急遽、植物に差し替えました。ところが、幸運にも曇り空で、観察には最適の空模様です。そうすると、いろいろな昆虫が目につきました。クワの木ではハラグロオオテントウやキボシカミキリが見られ、芝生ではモンシロチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミなどが飛んでいました。また、公園の池に行くとクロスジギンヤンマ、ショウジョウトンボ、クロイトトンボなどが飛んでいました。やはり、この時期は虫のほうが主役のようです。

(河原で虫探し)



(見比べてみたオニグルミの葉)



(羽化したてのハラグロオオテントウ)



(クワの葉にいたキボシカミキリ)

### <その他観察できたもの>

花: タイサンボク、ブタナ、ノアザミ、ニガナ、オニタビラコ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、オオキンケイギク、メリケントキンソウ、カワラマツバ、マンテマ、ムシトリナデシコ、コマツヨイグサ、ミナトマツヨイグサ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、セッカニワゼキショウ、コナスビ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、クララ、ヘラオオバコ、オオバコ、ツボミオオバコ、アレチハナガサ、オヤブヅラミ

虫: ナミアゲハ、キタキチョウ、コムスジ、ムラサキシジミ、コオニヤンマ、モノサシトンボ、ヨコツナサシガメ

鳥: ツバメ、ヒバリ、キジバト、スズメ、ムクドリ、コゲラ、ハシボソガラス、オオヨシキリ(声)、ホトトギス(声)、ウグイス(声)